

1. 神沼克伊…日本の地球科学者の南極へのアプローチ

1章 南極域の地震学的研究

2. 金尾政紀……………南極観測における地震学研究の変遷
3. 中西一郎・一瀬建日……………南極昭和基地から観た地球内核の異方性と回転
4. 名和一成・須田直樹……………南極からみた地球自由振動の研究
5. 小林励司・中西一郎……………南極大陸上部マントルの地震学的構造—表面波解析による推定—
6. 久保篤規・平松良治……………南極大陸の地震波速度異方性の研究
7. 根岸弘明……………リュツォ・ホルム湾域の地震活動とテクトニクス
8. 伊藤潔……………南極大陸での人工地震による地下構造調査
9. 筒井智樹……………みずほ高原における近年の人工地震探査
10. 金尾政紀……………南極大陸の地殻構造と Gondwana
11. 石川正弘・新開英介・有馬真……………南極大陸地殻物質の高圧地震波速度測定実験
12. 高波鐵夫……………ロス島エレバス火山での地震観測

2章 南極域の測地学的研究

13. 渋谷和雄……………昭和基地を中心とした南極測地学研究の変遷
14. 福岡順洋……………宇宙測地技術による測地観測と南極プレート運動
15. 松村正一……………重力基準点網の歴史と重力絶対測定
16. 土井浩一郎……………合成開口レーダーによる氷床・地殻変動の検出
17. 佐藤忠弘……………超伝導重力計による観測研究
18. 青山雄一……………長周期地球潮汐と極運動
19. 福田洋一……………南極および周辺海域での重力場研究
20. 瀬川爾朗・楠本成寿・石原丈実・長谷川博……………ヘリコプター重力測定システムの開発—極域での利用を目指して—
21. 三浦哲……………ロス島およびその周辺における重力測定
22. 青木茂……………南極域の海面変動と地殻変動—観測の現状と課題—

3章 南大洋の地球科学研究

23. 野木義史……………南大洋における電磁気学的研究
24. 井口博夫……………インド洋南部ケルグレン海台の深海掘削—ODP183次航海の成果—
25. 村上文敏・西村昭・上嶋正人……………南極周辺海域の地質調査—白嶺丸による20年間の成果—
26. 長尾年恭・佐木和夫・上嶋正人……………南極周辺海域における地殻熱流量データのコンパイルについて
27. 島村英紀……………西南極での海底地震観測
28. 久保篤規……………ダイナミックな相互作用による南極プレートの内部変形の可能性

4章 地球システムの中の極域と21世紀の展望

29. 渋谷和雄……………南極観測による地球環境変動システム解明への貢献
30. 石川尚人・船木實……………超大陸の変遷を追う—東南極、ナピア岩体への古地磁気学的アプローチ—
31. 坪井誠司……………グローバル地震学における南極の意義
32. 神沼克伊……………21世紀の南極の科学

ご注文は〈誌名と通巻番号〉でご指定ください。

号外 **地球**

ご注文は〈誌名と通巻番号〉でご指定ください。

号外 **海洋**

ご注文は〈誌名と通巻番号〉でご指定ください。

号外 **海洋**

